

NLE <i>Yokohama</i>		Sakura 5 + メインモジュール 設定・取付マニュアル	Technical Catalog	
Sept. 15 2006			T 000 901 J	
AMD NK	Ver. 1.8		Page	1 / 1



「Sakura 5 + メインモジュール」
設定・取付マニュアル

- 本書は“Sakura 5 + メインモジュール”に関する設定・取付を説明したマニュアルです。

No.	通信部	インターフォン SYS	外部アンテナ 有/無	電源モジュール 有/無	型名	
11	PHS タイプ	6VS			DS5B3-P-S6-AB	
12					x	DS5B3-P-S6-AN
13			x		x	DS5B3-P-S6-NB
14						DS5B3-P-S6-NN
21		6VM			DS5B3-P-M6-AB	
22					x	DS5B3-P-M6-AN
23			x		x	DS5B3-P-M6-NB
24						DS5B3-P-M6-NN
31		24VS			DS5B3-P-S24-AB	
32					x	DS5B3-P-S24-AN
33			x		x	DS5B3-P-S24-NB
34						DS5B3-P-S24-NN
41		24VM			DS5B3-P-M24-AB	
42					x	DS5B3-P-M24-AN
43			x		x	DS5B3-P-M24-NB
44						DS5B3-P-M24-NN
51	MODEM タイプ	6VS	-	x	DS5B3-M-S6-NB	
52					DS5B3-M-S6-NN	
61		6VM	-	x	DS5B3-M-M6-NB	
62					DS5B3-M-M6-NN	
71		24VS	-	x	DS5B3-M-S24-NB	
72					DS5B3-M-S24-NN	
81		24VM	-	x	DS5B3-M-M24-NB	
82					DS5B3-M-M24-NN	

は有 xは無 - は製品設定がありません。

- 本装置通信部の技術基準適合番号

PAU A04-0693001、001JAA1076

MODEM A05-0028004

備考：関連説明書（参考）

T 000 901 J	Sakura 5 + メインモジュール 設定・取付マニュアル (本書)
T 000 777 J	Sakura 5 + マルチプレックスモジュール 設定・取付マニュアル
T 000 911 J	スーパー太郎 5 B 3 取扱説明書
T 000 778 J	Sakura 5 + 設定ツール取扱説明書
TC 000 896 J	Sakura 5 + SakuraID設定ツール 取扱説明書
T 000 902 J	Super Sakura Enterprise 定時発報機能
T 000 773 J	Sakura 5 + センター登録方法
TC 000 924 J	Sakura 5 + データベース定義追加 説明書
T 000 772 J	Super Sakura Enterprise 遠隔点検スタンドアロン版 使用マニュアル
T 000 880 J	パラレル入出力標準回路 (PIO) 図

目 次

1.開封チェック	4ページ
2.取り付け接続作業	6ページ
(1) 情報の設定作業	6ページ
(2) 設置前確認作業	6ページ
(3) スイッチ類の確認	6ページ
(4) メンテナンススイッチとインターホンの接続	7ページ
(5) インターホン電圧の確認	10ページ
(6) パラレル入力信号の引き込みと接続	10ページ
(7) 電話回線の接続（モデムタイプの場合）	11ページ
(8) 外部アンテナの接続（PHSタイプ 外部アンテナ有りの場合）	11ページ
(9) 電源の接続	11ページ
(10) 外部（センター側）からの着信	11ページ
3.電話番号の設定とメッセージ登録	12ページ
4. 監視用LEDおよび操作スイッチの説明	13ページ
5.テスト発報	14ページ
(1) インターホン非常コール	14ページ
(2) 音量調整	15ページ
(3) メンテナンス開始発報	15ページ
(4) メンテナンス終了発報	15ページ
(5) アラーム発報	15ページ
6..運転開始	16ページ
(1) バッテリーの接続	16ページ
(2) 上蓋を閉じる	16ページ
(3) 運転開始	16ページ
7. その他（必ずお読み下さい）	16ページ
(1) PB音出力	16ページ
(2) バッテリーの交換	16ページ

1. 開封チェック

Sakura 5 + メインモジュール の梱包には下記のものが含まれていますので、開封時に必ず欠品等が無いかチェックして下さい。

(1)	取扱説明書(T 000 901 J)	1 部	本書
(2)	設定表		1 枚
(3)	Sakura 5 + メインモジュール 本体	1 式	通信部にはPHS/MODEMどちらかを 実装しています。 電源モジュール有りの場合はバッテリーを内蔵して います。
(4)	ACアダプター	1 個	電源モジュール有りの場合
(5)	メンテナンススイッチ	1 個	
(6)	外部アンテナ	1 個	PHS外部アンテナ有りの場合
(7)	装置取付用ネジ	2 個	



装置上カバー



PHS 外部アンテナ

メンテナンススイッチ

ACアダプター



装置 MODEM タイプ

装置 PHS タイプ



PHS タイプ 内部アンテナ

PHS タイプ 外部アンテナ

2. 取り付け接続作業

(1) 情報の設定作業

あらかじめ、発報先電話番号やSakura - ID等のデータを設定ツールで登録しておく必要があります。

(Sakura5 + 設定ツール取扱説明書 T 000 778 Jをご確認ください。)

本装置は、PHSタイプの場合は外部のPHS公衆基地局と無線通信を行う装置PAUが組み込まれております。

MODEMタイプの場合はN T T 公衆回線で通信を行うためのモデムが組み込まれています。

(2) 設置前確認作業

a) PHSタイプの場合は、

加入契約されたPHS事業者のサービスエリア内であること。

建築・構造物で電波が遮断されていないこと。

特に金属の壁面への取付は避けること。

電波状態のチェックは 5. 監視用LEDおよびび操作スイッチの説明の章を参考にして下さい。

b) MODEMタイプの場合は、

開通済みのN T T回線を用意してください。本装置のTELコネクタはRJ-11です。一般の電話モジュラ-ケーブル(6芯)で接続することができます。

c) 直射日光が長時間あたる場所は避け下さい。

d) 本体へ常に水がかかる場所は避けて下さい。

本装置は壁取付け用に上部と下部に取り付け穴を用意しています。付属のネジで止めてください。

(3) スイッチ類の確認

- ディップスイッチ (SW3) : 型式・構成と基板中央部にあるディップスイッチ SW3の位置表が合致していることを確認してください。

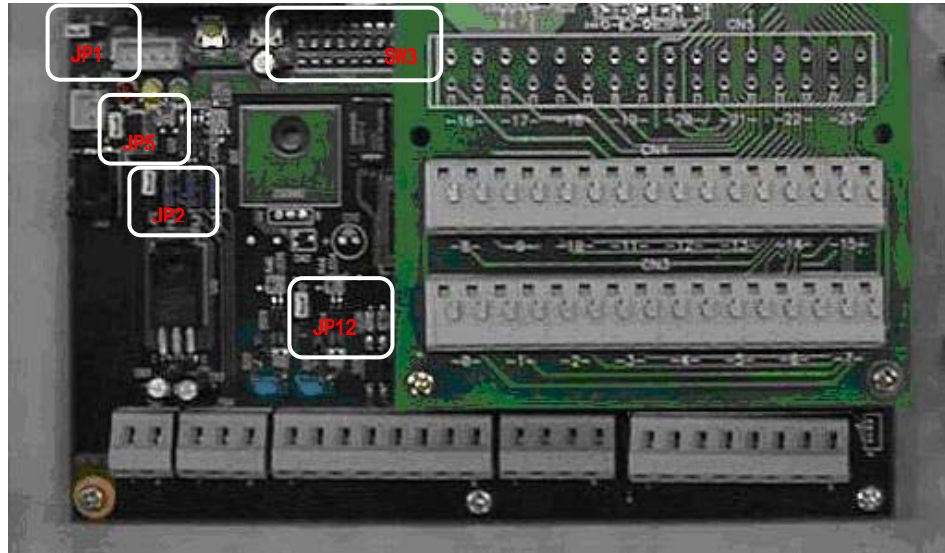
機能説明	スイッチ番号	1	2	3	4	5	6	7	8	
		ON	多局	24V	固定	固定	固定	固定	MODEM	固定
		OFF	単局	6V					PAU	
PAU	6VS	DS53-P-S6-	x	x			x	x	x	x
	6VM	DS53-P-M6-		x			x	x	x	x
	24VS	DS53-P-S24-	x				x	x	x	x
	24VM	DS53-P-M24-					x	x	x	x
MODEM	6VS	DS53-M-S6-	x	x			x	x		x
	6VM	DS53-M-M6-		x			x	x		x
	24VS	DS53-M-S24-	x				x	x		x
	24VM	DS53-M-M24-					x	x		x
はON、xはOFFをあらわします										

ディップスイッチ SW3の位置表

- ジャンパピンの確認

ジャンパピンの接続を確認してください。

JP1	開放	JP2	短絡
JP59	短絡	JP12	短絡



(4) メンテナンススイッチとインターホンとの接続

- メンテナンススイッチ

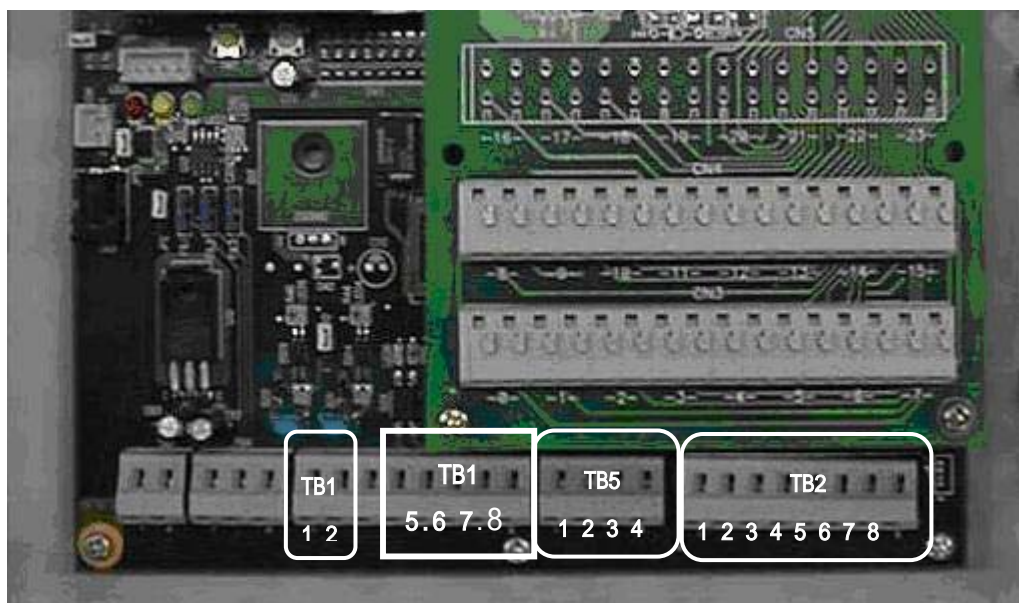
付属のメンテナンススイッチのケーブルTB1コネクタのピン1、2に接続します。

TB1	1	線色：赤	メンテナンススイッチの ケーブル
	2	線色：黒	

- OUT PUTポート 接続

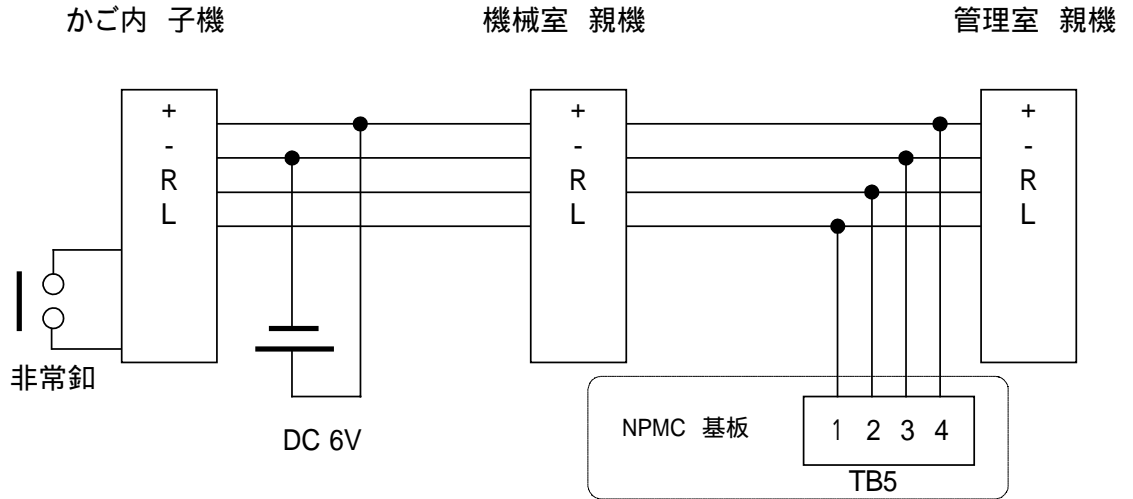
外部機器にはTB1コネクタのピン5-6,7-8に接続します。

TB1	5	コレクタ	フォトカブラのオープンコレクタ 出力
	6	エミッタ	
	7	コレクタ	
	8	エミッタ	

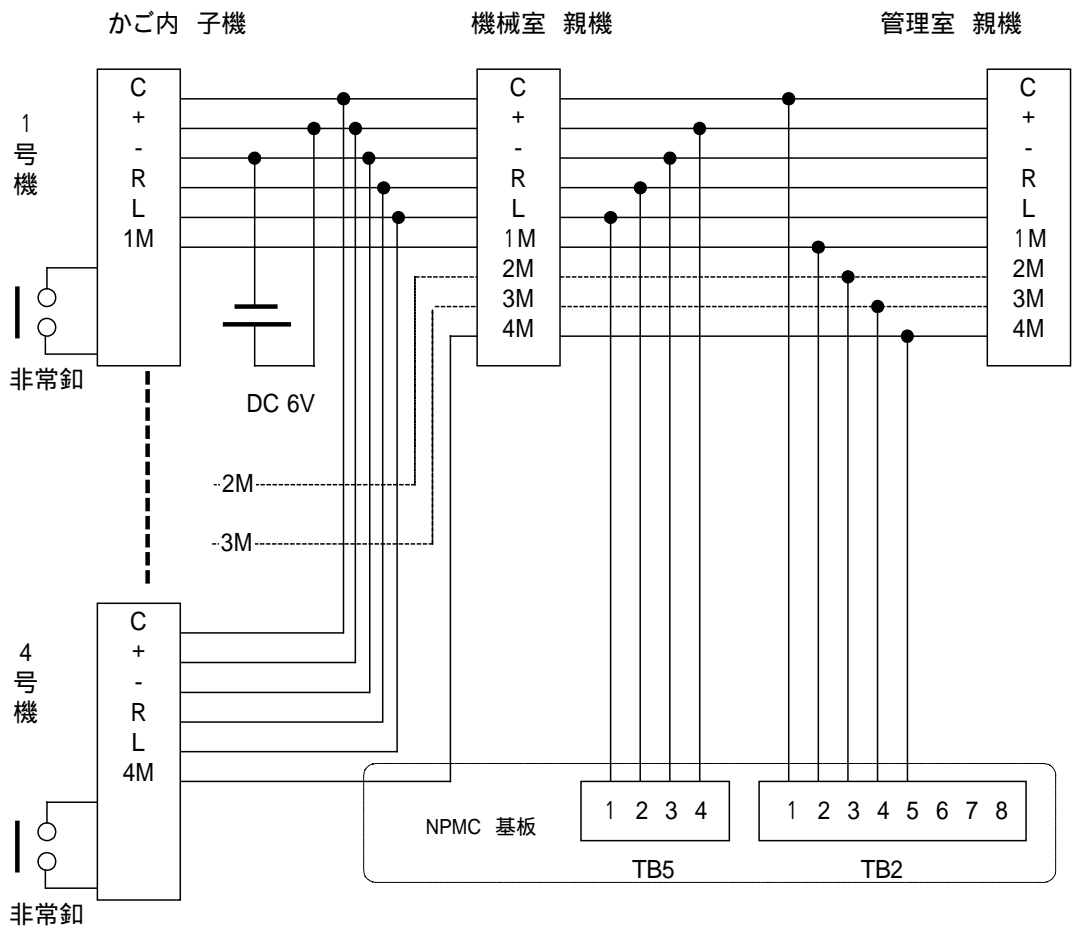


● エレベータ・インターホンとの接続

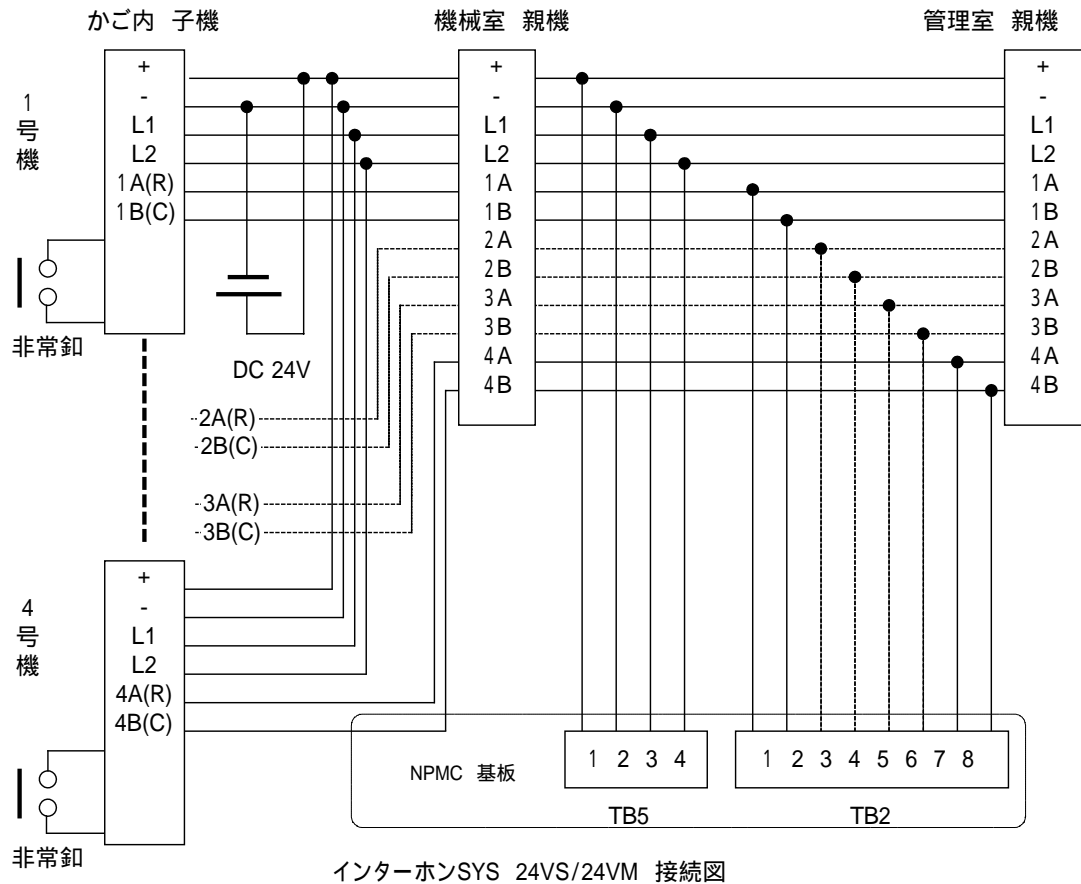
既存のエレベータインターホンの端子と Sakura5+ メインモジュールの TB5、TB2 を結線します。次の接続図とインターホン SYSY 信号名の表を参考にして下さい。NPMC とは本機の主制御盤です。接続端子の概観は前図によります。



インターホンSYS 6VS 接続図



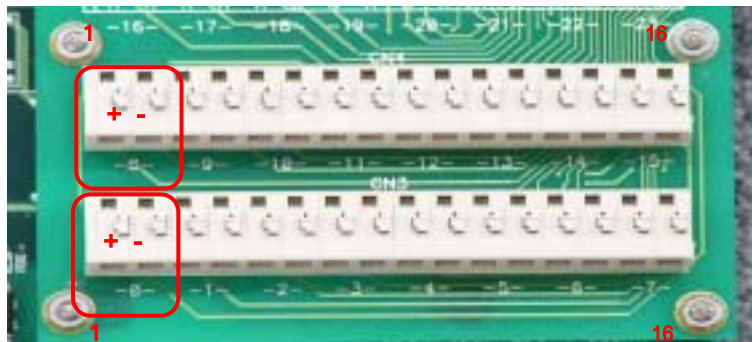
インターホンSYS 6VM 接続図



端子台	ピン No.	インターホン SYS インターホン信号名			
		6 VS の場合	6 VM の場合	24VS の場合	24VM の場合
TB5	1	L	L	+ (プラス)	+ (プラス)
	2	R	R	- (マイナス)	- (マイナス)
	3	- (マイナス)	- (マイナス)	L1	L1
	4	+ (プラス)	+ (プラス)	L2	L2
TB2	1		C	1 A	1 A
	2		1 M	1 B	1 B
	3		2 M		2 A
	4		3 M		2 B
	5		4 M		3 A
	6				3 B
	7				4 A
	8				4 B
接続参考図		6 VS接続図	6 VM接続図	24VS/24VM接続図	24VS/24VM接続図
接続線の大きさと端末処理		単線の場合 0.32mm ~ 0.65mm、 撚線の場合 0.08mm ~ 0.32mm 素線径 0.125mm 以上。TB2,5の端末処理：剥き線長は10mm			

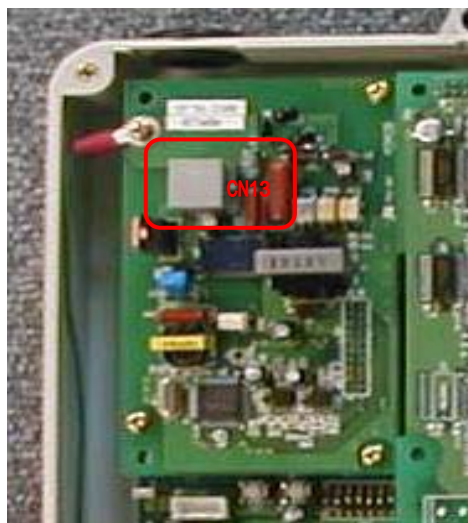
- (5) インターホン電圧の確認
- インターホンSYSが6VS/6VMの場合、親機と子機で通話中のときインターホン接続ケーブルの(-)と(+)間の電源電圧が5.0V(定格6V)以上であることをテスターで確認して下さい。
 - インターホンSYSが24VS/24VMの場合、親機と子機で通話中のときインターホン接続ケーブルの(-)と(+)間の電源電圧が20V(定格24V)以上であることをテスターで確認して下さい。

(6) パラレル入力信号の引き込みと接続
 装置制御基板の上部にパラレル入力用基板NEXPI16を実装しています。
 コネクタ端子台CN3,4がケーブル接続端子です。
 ポート0と8は高電圧仕様になっています。詳細はポート説明表を参照ください。
 ポート入力端子は極性を有しています。DCの場合接続端子の左側に“プラス”を接続してください。またACの場合は負荷(Load)側を接続します。



ポート No.	端子台 番号	ピン 番号	信号 名称	入力範囲 AC/DC	ポート No.	端子台 番号	ピン番 号	信号 名称	入力範囲 AC/DC
0	CN3	1	0+	50V ~ 200V	8	CN4	1	8+	50V ~ 200V
		2	0-				2	8-	
1		3	1+	6V ~ 100V	9		3	9+	6V ~ 100V
		4	1-				4	9-	
2		5	2+	6V ~ 100V	10		5	10+	6V ~ 100V
		6	2-				6	10-	
3		7	3+	6V ~ 100V	11		7	11+	6V ~ 100V
		8	3-				8	11-	
4		9	4+	6V ~ 100V	12		9	12+	6V ~ 100V
		10	4-				10	12-	
5		11	5+	6V ~ 100V	13		11	13+	6V ~ 100V
		12	5-				12	13-	
6		13	6+	6V ~ 100V	14		13	14+	6V ~ 100V
		14	6-				14	14-	
7		15	7+	6V ~ 100V	15		15	15+	6V ~ 100V
		16	7-				16	15-	
接続線の大きさと端 末処理		単線の場合 AWG28 ~ 14、 撚線の場合 AWG26 ~ 14、 端末処理：剥き線長は9 ~ 10mm							

- (7) 電話回線の接続（モデムタイプの場合）
一般の電話モジュラーケーブルをMODEM基板のCN3へ接続します。



- (8) 外部アンテナの接続（PHSタイプ 外部アンテナ有りの場合）
Sakura 5+の上部に付いているPAUの内部アンテナを外し添付の外部アンテナを接続して下さい。
はずしたアンテナはしばらく保管してください。
- (9) 電源の接続
メンテナンススイッチがOFF（断）になっていることを確認します。



CN3に付属のACアダプタを接続します。
ACアダプタをAC100Vコンセントへ接続します。電源が供給され装置は動作を開始します。

- (10) 外部（センター側）からの着信確認
外部電話（携帯電話など）から本装置にダイヤルすると、自動応答し通話状態となります。外部電話を切ると本装置は自動的に回線断します。

3. 電話番号の設定とメッセージ登録

- 外部電話（携帯電話など）から「Sakura 5 +」にダイヤルすると、自動応答し通話状態となります。その通話状態から下記の「電話回線の種類の選択と電話番号の設定」を行って下さい。
- リモートで各種設定を行います。
 1. 設定開始 ##0 に続いてパスワードの入力を行います。
パスワードが正しいと、低-高-高(ビーボ・ポ) の 3 つの連続音が聞こえます。
不正なパスワードの場合は 高-高-低(ポ・ポ・ビー) 3 つの連続音が聞こえます。
その場合には再度、##0 から再入力を行います。
 2. データ設定 ##1 ~ 9
発信先電話番号-ID 番号 (P B 音出力) -非常発報待ち時間-電話回線の種別設定-かご内アナウンス録音 -現場名アナウンス録音、を行います。
 3. 設定終了 最後に * # を入力し設定終了です。電話を切断します。
- 「電話番号の設定とメッセージ登録」の各種設定のキー操作。

コマンド		説明	出荷時設定
##0 nnnn	パスワード	4 桁	9999
##1 ttt...ttt*#	非常コール 1	1 番目の音声接続電話番号 最大 20 桁	未設定
##2 ttt...ttt*#	非常コール 2	2 番目の音声接続電話番号 最大 20 桁	未設定
##3 ttt...ttt *#	モデムコール 1	1 番目のデータ接続電話番号 最大 20 桁	未設定
##4 ttt...ttt *#	モデムコール 2	2 番目のデータ接続電話番号 最大 20 桁	未設定
##5 nnnnnnnnn*#	ID-PB 音出力(太郎 I D)	n=電話回線接続後の P B 音による ID 番号 最大 16 桁	未設定
##6 nnn*#	非常発報待ち時間	n = 設定範囲 : 1 ~ 2 5 5 秒	6
##7 nmlJk*#	回線種類の選択	n=0 : PB-Tone 1: 10pps, 2: 20pps P H S では無効	0 0 1 1 1
	発信機能の選択	m=0 : インターホンの親機が応答した場合はダイヤルしない 1 : インターホンの親機が応答してもダイヤルする 2 : 未使用)	
	着信モードの選択	l=0: 音声応答, 1: 自動判別応答, 2: データ応答, 3: 着信拒否	
	電源制御の設定 :	J=0 : 未使用, 1 : 工場出荷 本装置では無効機能です	
	インターフォン発報時のブザーとアナウンスの有無指定	K=0 無し・有り 1: 有り・有り 2: 有り・無し 3: 無し・無し	
##8	かご内アナウンス録音	センター側の電話機のハンドセットより音声を録音します、##8 を入力すると、直ちに約 7 秒間録音がスタートします	ただいまセンターへ接続中です。しばらくお待ちください。
##9	現場名アナウンス録音	センター側の電話機のハンドセットより音声を録音します。##9 を入力すると、直ちに約 12 秒間録音がスタートします。	無音



注意！ 上記設定を行う際は、全て ##n から始まり、末尾に必ず *# を入力します。

ただしパスワードと音声録音は末尾に *# は必要ありません。押しボタンの操作は手早く行います。ボタン間操作は 3 秒以内におこないます。もし、3 秒以上の間隔が空いた場合は高-高-低(ポ・ポ・ビー)の連続音(NG音)がなりますので再度 コマンド ##n の操作からおこないます。

各設定が正しく登録された場合には設定毎に、低-高-高(ビーボ・ポ)の 3 つの連続音(OK 音)がなります。NG の場合は高-高-低(ポ・ポ・ビー)の連続音(NG 音)がなります。

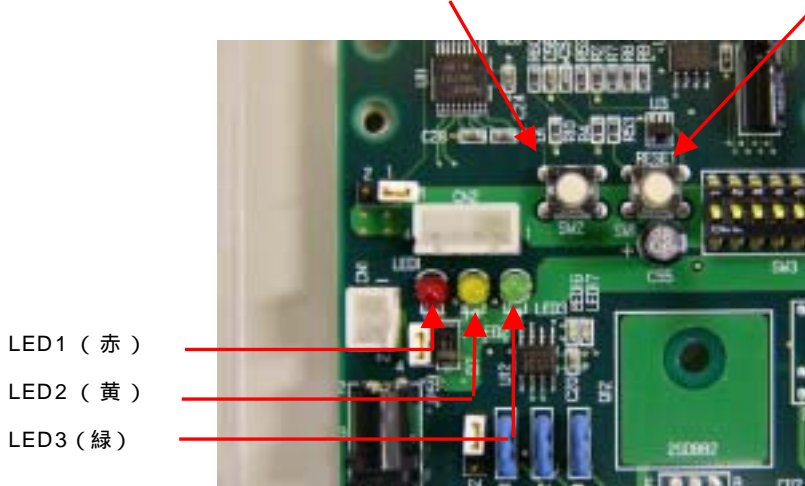
同じ番号を重複して登録しても構いません。##1, ##2 の発報連絡先に電話番号を入力して下さい。

4. 監視用LEDおよび操作スイッチの説明

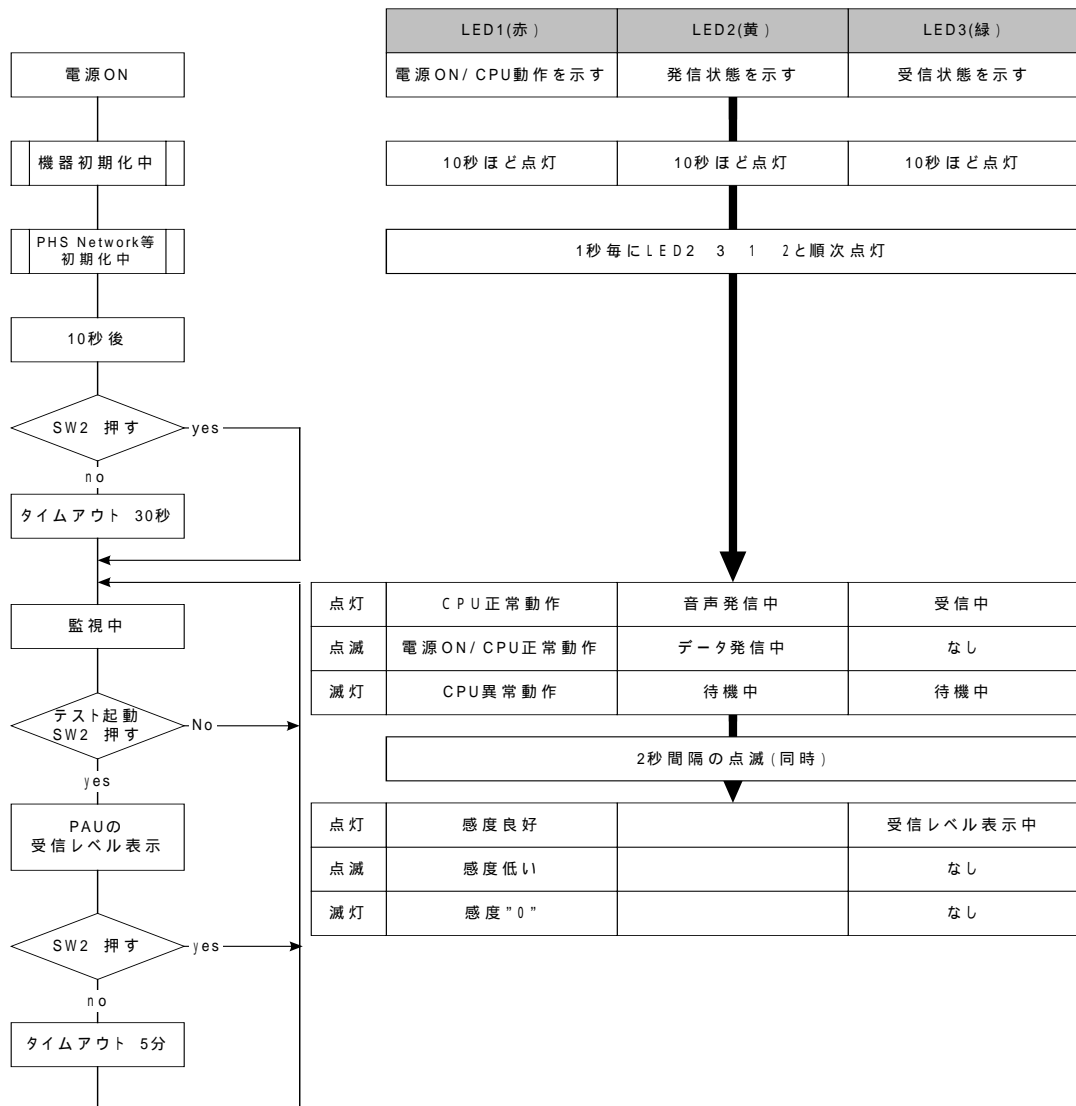
動作フローと監視用LEDの表示状態を説明します。

- 監視中の場合のLEDの点滅状態で発信 / 受信動作がわかります。
- またPHSタイプの場合テスト起動することにより電波環境の確認ができます・

SW2 (オペレーションスイッチ) SW1 (リセットスイッチ)



LED1 (赤)
LED2 (黄)
LED3 (緑)



5. テスト発報



注意！

- PHSを使用する場合、予めPHSの開通の事務手続を行っておく必要があります。開通の手続完了後、PHSの最初の電源投入時には基地局と端末PAUの報知情報の登録を行います。この場合、20秒ほどかかりますので、その間電源を切断することのないよう注意してください。
- 位置・報知情報の登録をしていない場合（Sakura 5 + の電源を一度も投入していない場合は）外部の電話から電話をしても「おかけになった電話番号番号は現在使われておりません・・・」のメッセージがでます。
- 開通しているかしていないかを確認する簡単な方法は、そのPHSに外部の電話器（携帯電話など）から電話をかけた時のメッセージで判別できます。

開通していて電波が通じている場合
普通の電話と同じにリングになります。

開通していて電波が通じていない場合
「おかけになった電話は電波が届かない場所にあるか電源が入っていない為、かかりません」のメッセージが聞こえます。

開通していないあるいは基地局と報知情報の登録を行っていない場合
「おかけになった電話番号は現在使われておりません・・・」のメッセージが聞こえます。



(1) インターホン非常コール

かご内インターホン子機の非常釦を 3 秒間押す。

非常釦が押された事を感じし発報動作します。（非常音発鳴します）

かご内子機よりアナウンス（「かご内アナウンス録音」内容）が再生され、続いて設定された電話番号に電話をかけます。

設定された「非常コール1」の電話番号に電話をかけ、

「応答なし」もしくは「話中」等で相手先につながらない場合は次の「非常コール2」の電話番号へ、という様に以降、接続されるまで3周期（6回）繰り返します。

非常コール1 非常コール2 非常コール1 非常コール2 非常コール1 非常コール2

電話がつながりましたら ID-PB 音出力後、相互通話が行えます。

【着信時の操作】

外部電話（携帯電話など）から「Sakura 5 +」にダイヤルすると、自動応答し接続状態となります。次に下記操作を行うとかご内子機と相互通話が行えます。インターホンが単局の場合は、**電話機より#1を押す**。多局の場合、子機を選択し通話を切り替える事ができます。子機選択方法は #（子機番号）を押す事で選択ができます。

子機1の選択	# 1
子機2の選択	# 2
子機3の選択	# 3
子機4の選択	# 4

尚、相互通話を確認出来ましたらセンター側の電話機より

* を押す事により現場名アナウンスが再生されます。

相互通話は4分間可能です。

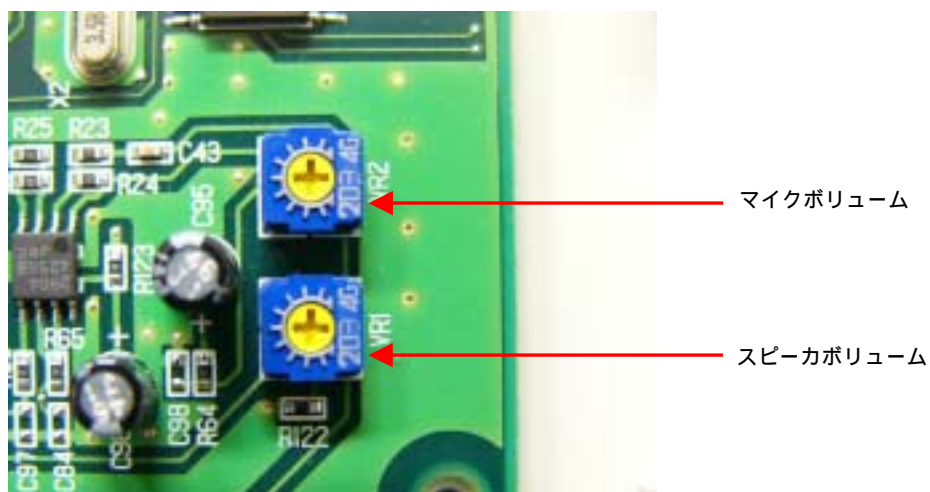
相互通話で3分50秒を経過した時点で警告音が「ピピピピ」4回鳴りその後、回線を自動切断します。



注意！ かご内非常釦の押し下げが3秒未満の場合は、誤操作とみなし電話はかけません。

(2) 音量調整

NPMC基板上のVR1及びVR2でインターホンのスピーカ及びマイクの音量調整が行えます。



右に回すとボリュームが大きくなります。(出荷時はほぼ中間に設定されています。)

現場にて実際に聞きながら調整してください。

(3) メンテナンス開始発報

メンテナンススイッチを ON にします。

(4) メンテナンス終了発報

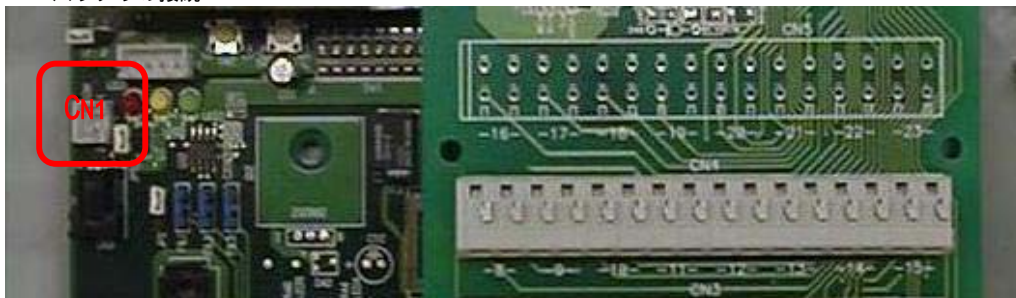
メンテナンススイッチを OFF にします。

(5) アラーム発報

任意のアラームを発生させます。

6. 運転開始

(1) バッテリーの接続



CN1にバッテリーを接続します。

(2) 上蓋を閉じる

(3) 運転開始

上記すべての作業が確認出来ましたら運転開始です。

7. その他（必ずお読み下さい）

(1) ID-PB音出力（太郎ID）

音声接続の場合、「##5」に登録された番号を接続直後MF信号として送出します。これは「Sakura 5 +」の機器識別をおこなう場合に使用します（Sakura-IDとはちがいます）

(2) バッテリーの交換

バッテリーは消耗品です2年を目安に交換して下さい。

- 以上 -